

Toyama Design Center
2019

Design Report vol.01

デザインディレクター 岡 雄一郎

音の共感がゆるやかな波紋を描く小泉製作所の新商品「Kanpai Bell Pair」

株式会社小泉製作所(富山県高岡市)が「快音」をコンセプトとしたオリジナルブランド「小泉屋」で2019年4月9日から14日までイタリア・ミラノで開催され100万人の来場者で賑わう世界最大のデザインイベント、ミラノデザインウィークに初出展しました。本展示のプロデュースを行い、商品選定、展示コンセプトの立案、展示デザインその他、新商品のデザインを手がけました。



高度な金属加工と音のノウハウで生まれた商品

小泉製作所は130年間、仏具の製作や文化財の修復などを手がけた高度な“金属加工”と、おりんなどで培った“音”のノウハウを歴史として築いてきました。

今回発表した新商品「Kanpai Bell Pair」は、小泉製作所のノウハウを注ぎ込んだ繊細な金属加工で生み出される金属製の乾杯グラスです。フォルムが異なる2種類のグラスで乾杯すると、それぞれ違う音階で美しいハーモニーを奏でます。フォルムは異なっても上下や左右にスタッキングできる統一感のあるデザインです。

会場には巨大な岩の彫刻「Echo」の上に5つの音階を放つ Kanpai Bell Pairを組み合わせて、誰が叩いても心地よいハーモニーを奏でることができる楽器として展示しました。来場者には実際に音を奏でて楽しんでもらい、このグラスの金属加工の一つ一つの手作業や小泉製作所の歴史の深みのような

ものを、自ずと感じてもらうことができました。音に吸い寄せられ来場される方も多くひととき賑わう展示ブースとなりました。

世界中の方に届けたい小泉製作所の“音”

来場者に企業情報として配布したコミュニケーションツール「Ripples of Sound」は、会場で見ても、鳴らしても、感じていただいた“音の記憶”をそのまま持ち帰っていただきたいという意図を込めてデザインしました。

埋め込まれた真鍮棒の先端から生まれた音の波紋は、ゆるやかな波紋を描きながら、周囲へと広がっていきます。

今回の出展を通じて、小泉屋ブランドの様々な商品に世界中の人が共感し、購入を希望する人、会社訪問を希望される人、友人に紹介してくれる人など、日本から世界へと広まる発端として、来場された世界中の方々の心に、小泉製作所の“音”が響きはじまりました。